

ナンピン戦略のススメ

インディケータとラインを上手く
使って上手にポジションを取ろう！

(無料版)

皆さんはナンピン戦略をどう思われますか？

一般的にはナンピン戦略(マーチンゲールとも呼ばれることもあります)は、**リスクが高い手法**として認識されています。うまく使えば平均取得単価を下げ、含み損を回収しやすくなりますが、資金管理を誤ると致命的な損失を招く可能性があるからです。

以下にナンピン戦略の主なメリット、デメリットを列挙してみましょう。

ナンピンのメリット

1. 含み損の平均化：平均取得価格を下げ、相場が戻れば損失回復しやすい
2. 高勝率を実現しやすい：小幅反発で利益確定できることが多い
3. 裁量を減らせる：ルール化しやすく、機械的に実行可能

ナンピンのデメリット

1. 資金効率が悪い：含み損が増えると必要証拠金も増大

2. **トレンド相場に弱い**：逆方向へ強く動く と損失が雪だるま式に拡大
3. **精神的負担が大きい**：ポジションが膨らむにつれ冷静な判断が困難
4. **長期的には破綻しやすい**：無限ナンピンは理論上成立せず、口座資金が限界に達する

やはり、メリットよりもデメリットが大きすぎる気がしませんか？　かく言う筆者もナンピン戦略を主としながらも、こうして改めて列挙すると大勢のトレーダーがナンピンを忌避している事には納得です。

しかし、あえて言わせてください。

ナンピンが最も効率的に資金を増やす最良の方法であると。

この無料版では資金管理や通貨ペアごとのポジションの取り方には言及せず、ほとんどの取引ツールに実装さ

れているインディケータとラインを使った手法をご提案
致します。

ナンピン戦略を取る上で特に効果的なものを取り上げ
ますので、トレードの一助として頂けたら幸いです。

説明の際に使用している取引ツールはMT 4 となりま
すが、設定自体はどの取引ツールでも可能です。

なぜそのラインを引くのか、なぜそのインディケータ
を使うのかは最後にまとめて説明しますので、まずは設
定してみてください。

重要度★★★★★

1. 移動平均線を3つ引こう！

移動平均線 (Moving Average) とは過去の一定期間の終
値 (または価格) の平均を、線として時系列に結んだも
のです。

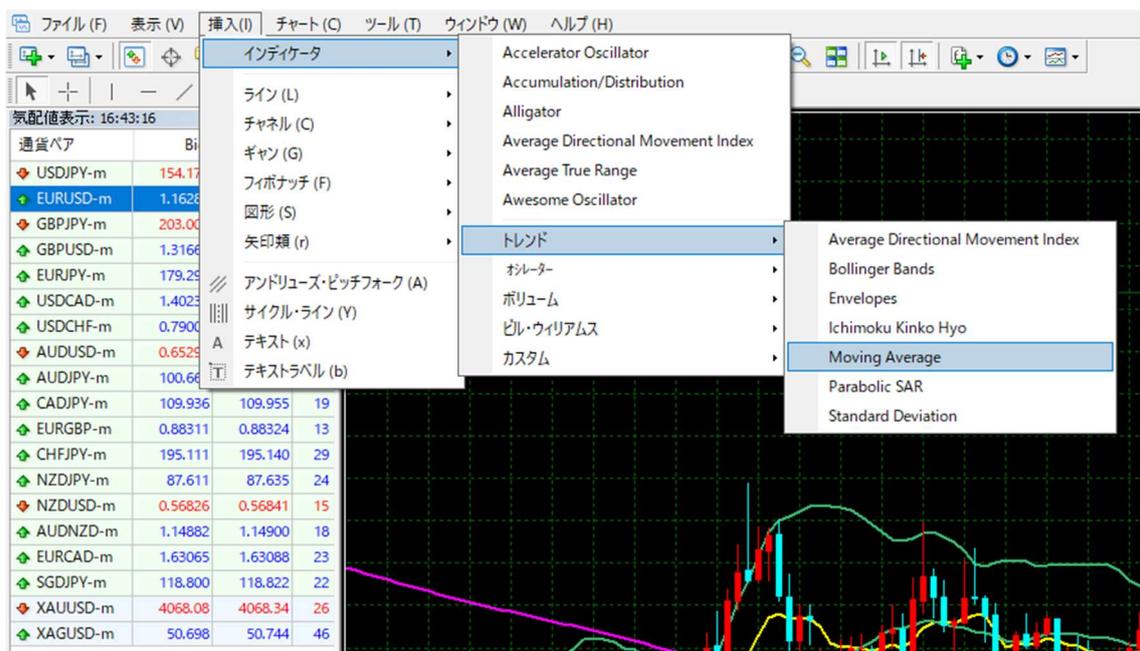
- ・短期線 期間：10 タイプ：指数平滑移動平均線
- ・中期線 期間：50 タイプ：単純移動平均線
- ・長期線 期間：200 タイプ：単純移動平均線

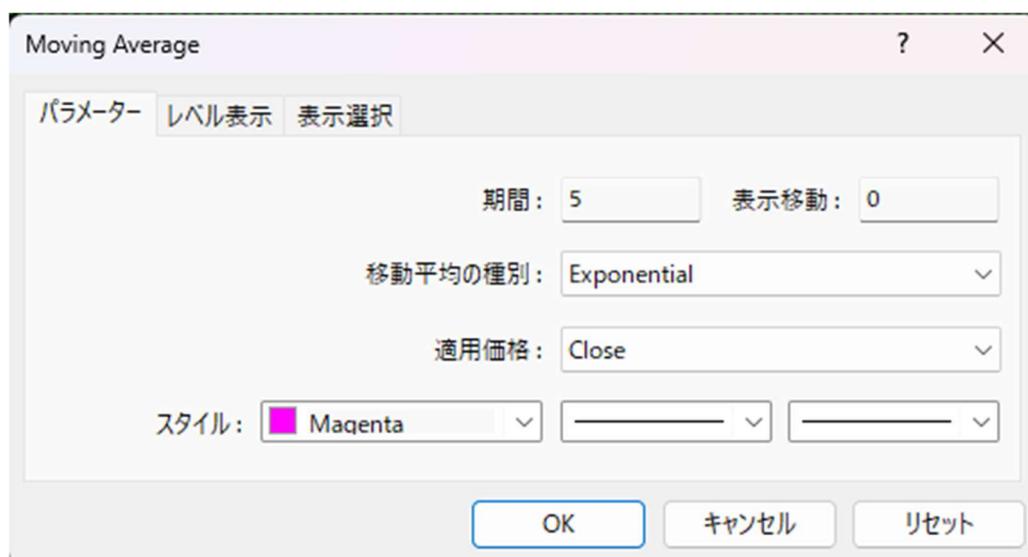
まずは最初の画面



次に画面左上、挿入→インディケータ→トレンド→

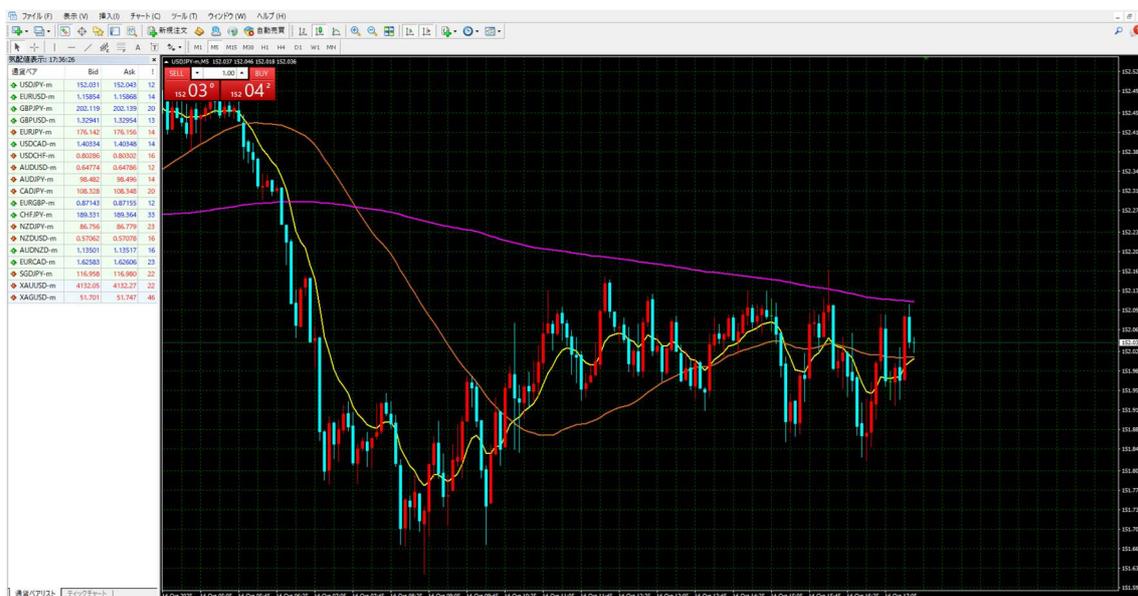
Moving Average と選び、





このようなポップアップ画面が出ますので、デフォルトで入っている期間 5 を短期線なら 10 に変更し、移動平均の種別を指数平滑移動平均線（Exponential : EMA）に、中期線なら期間を 50 とし、移動平均の種別を単純移動平均線（Simple : SMA）と、長期線も同じように設定して 3 本ラインを引いてください。表示移動、適用価格は触らなくて大丈夫です。

3本引いたチャート画面がコチラ



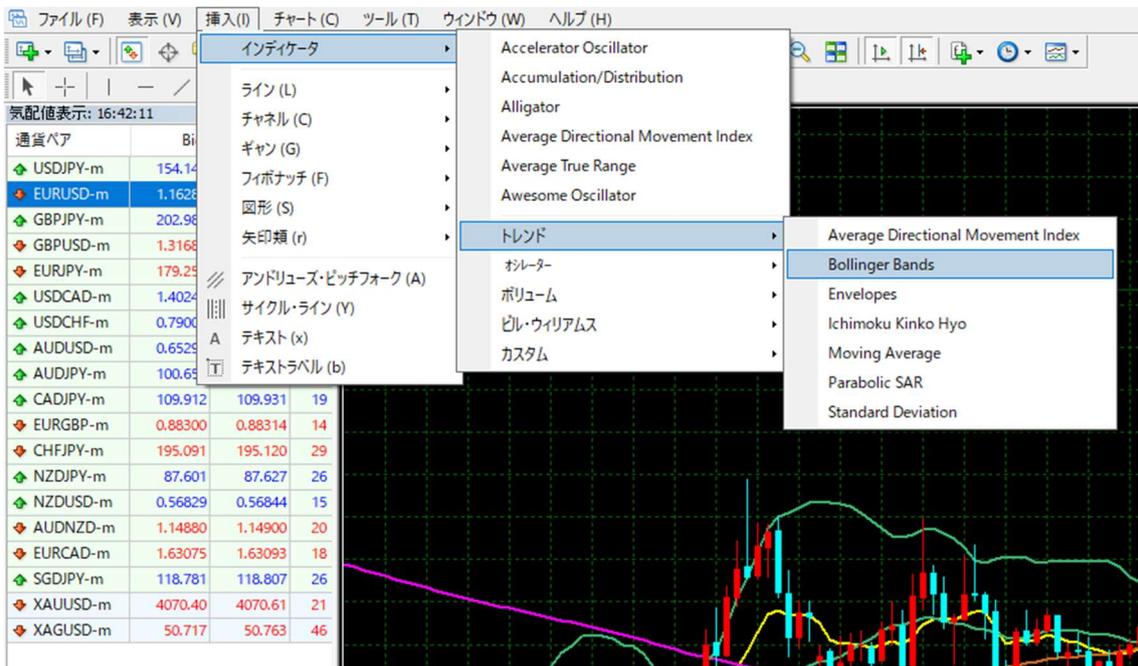
ラインのタイプ（破線など）、太さ、色は自由に設定できますので、ご自身でお好みに設定して下さい。

重要度★★★★★

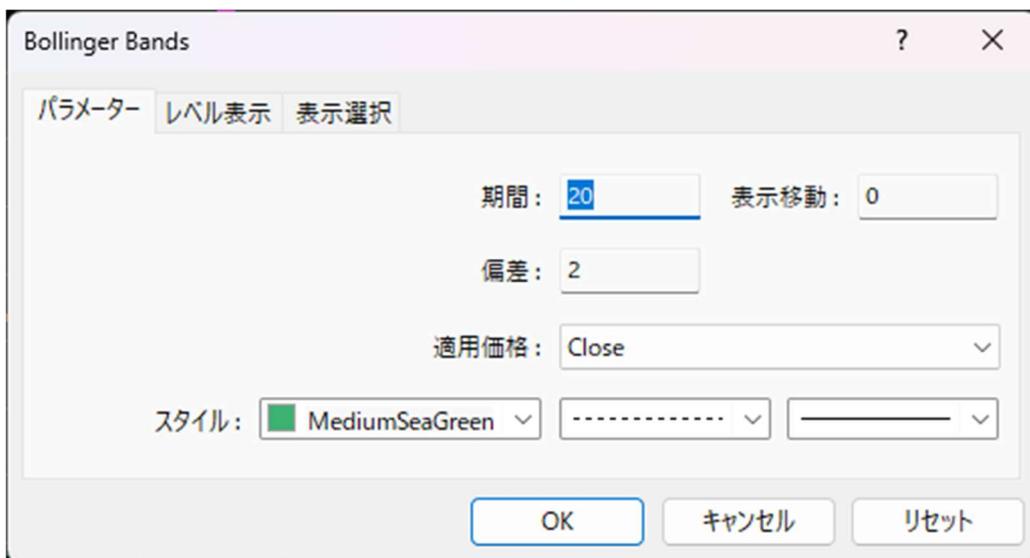
2. ボリンジャーバンド (Bollinger Bands) を表示しよう！

価格の変動幅（ボラティリティ）を視覚的に示すテクニカル指標。ナンピン戦略ではとても参考になるインディケータです。

画面左上の挿入からインディケータ→トレンド→
Bollinger Bands と選んで、



以下のポップアップが表示されますので、数字は触らずにスタイルをお好みで設定してOKをクリックして下さい。



移動平均線、ボリンジャーバンドを設定したチャートがこちら。

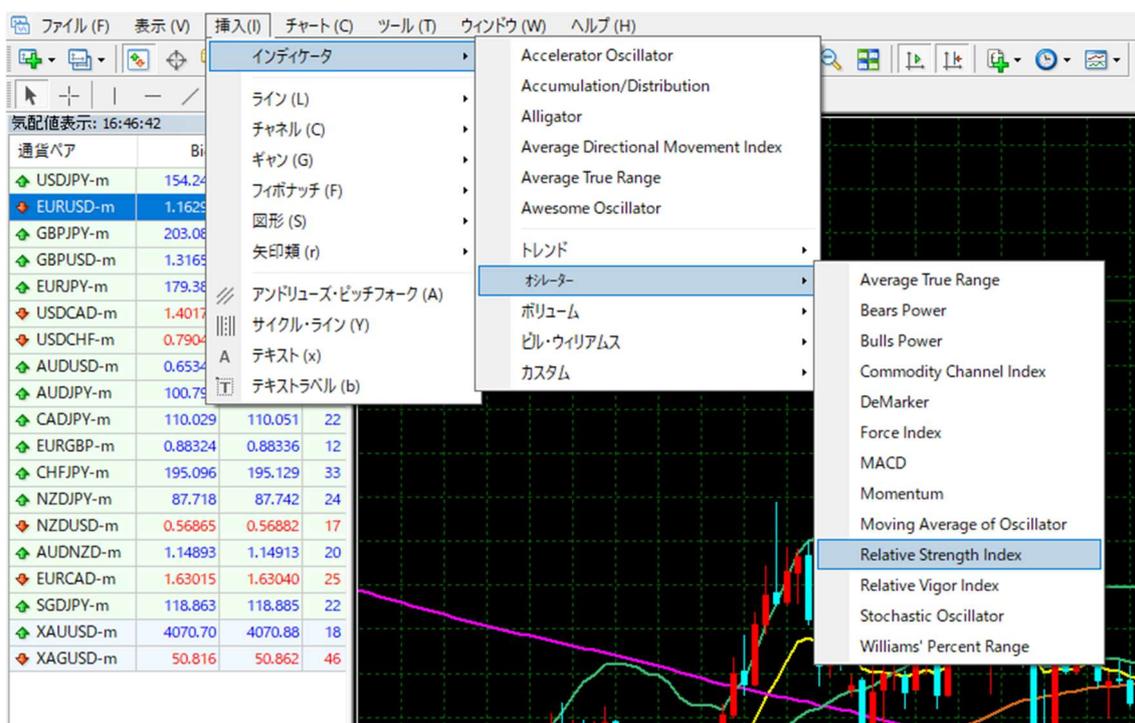


徐々にそれらしくなって来たのではないのでしょうか？
あと少し設定しておきたいインディケータがありますので
お付き合いください。

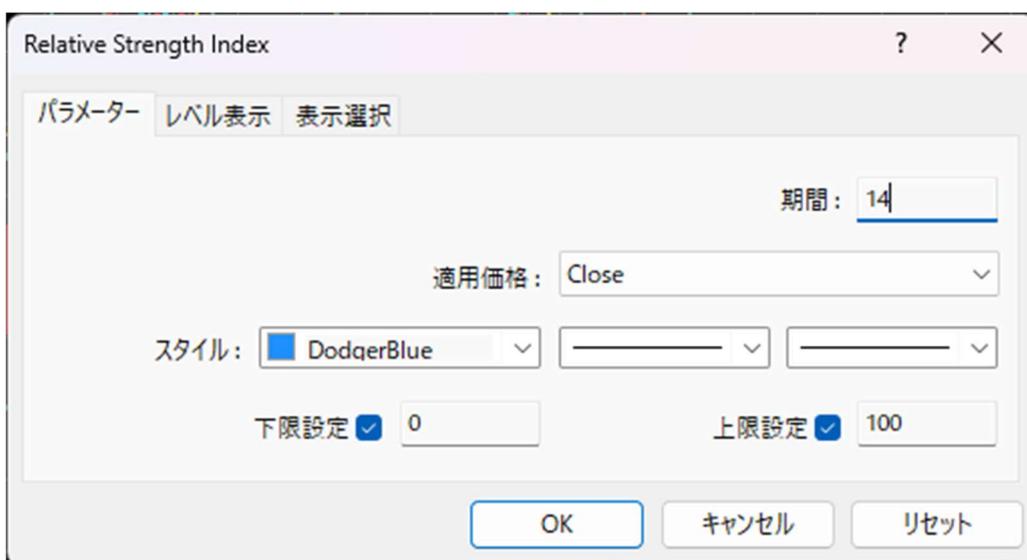
重要度★★★★☆

3. RSI（相対力指数）で売られ過ぎ、買われ過ぎを見える
化しよう！

画面左上から挿入→インディケータ→オシレーター→
Relative Strength Index（RSI）を選択。



ポップアップ画面で期間を 14、適用価格を Close、加減上限をそれぞれ 0、100 で設定します。



設定後の画面がこちら。

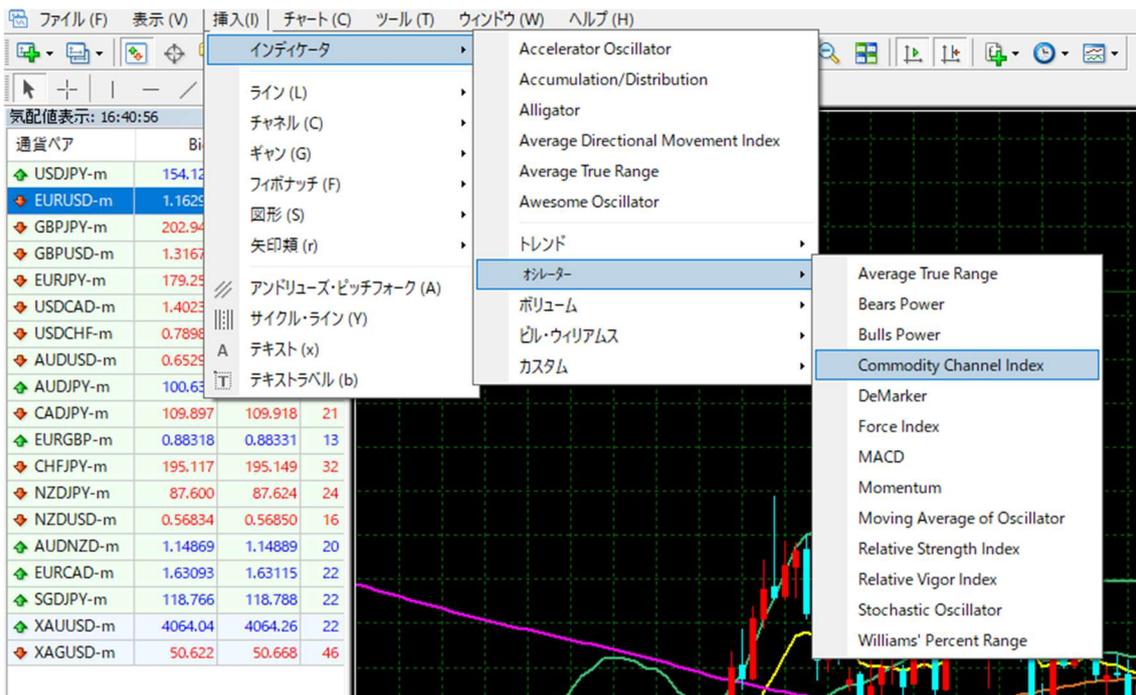


重要度★★★★☆☆

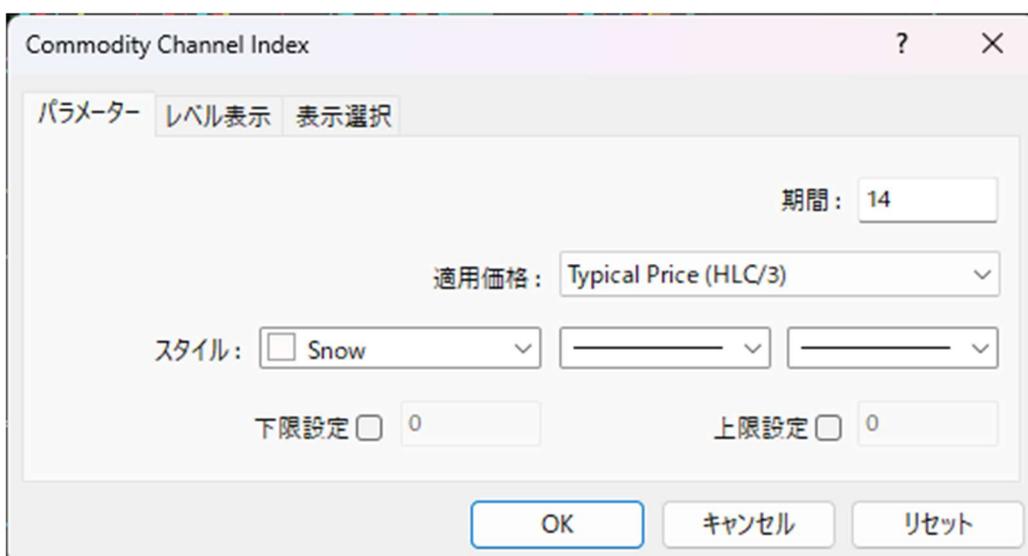
4. 最後は CCI（商品チャネル指数）でトドメ！

CCI（Commodity Channel Index、商品チャネル指数）は、価格が「平均値からどれだけ離れているか（乖離）」を数値化したテクニカル指標。ボリンジャーバンドと組み合わせると効果的で、移動平均値と現在価値の乖離を端的に表示してくれます。

画面左上から挿入→インディケータ→オシレーター→Commodity Channel Index（CCI）を選択。



以下のポップアップ画面が出てきますので、期間を 14、適用価格を Typical Price (HLC/3) として下さい。



設定後の画面がコチラ



RSI と CCI の表示幅は手動で調整できるので、ご自分で
 お好きな幅に調整して下さい。

さて、ここまで移動平均線、ボリンジャーバンド、RSI、
 CCI と 4 つのインディケータを設定しました。ここからは
 これらを活用したナンピン戦略をご紹介します。

基本コンセプトは「逆張りのナンピン」です。
 ですが……

- ・ 長期トレンド（移動平均線）

- ・ 過熱感 (RSI)
- ・ 価格の乖離 (ボリンジャーバンド)
- ・ 価格サイクル (CCI)

をフィルターとして使い、“**危ない状況ではナンピンしない**”
ことを意図した安全寄りの設計です。

①エントリー条件 (買いナンピンの場合)

✅ 初回エントリー (第一手)

以下の4つが揃ったタイミングで買いエントリー

1. 価格が ボリンジャーバンド -2σ を下抜け
2. $RSI < 30$
3. $CCI < -100$ (売られすぎ)
4. 価格が $200SMA$ より上にある (長期は上昇トレンド)

👉 ここでのポイントは、

「逆張りで入るが、長期トレンドには逆らわない」ということ
になります。

②ナンピン条件 (追加ポジション)

✓ 追加条件は厳しめにする

以下を全て満たしたときだけナンピン。

1. 前回のエントリー価格から **1ATR** (平均変動幅) 下落
→ ナンピン間隔を価格差ではなくボラティリティ基準にする
2. **RSI** が **25** 以下
3. **CCI** が **-150** 以下
4. ロットは初回の **50%** に減らす (遞減ナンピン)

👉 ナンピンで「同じロットを増やす」と破綻しやすいので、
遞減 (少なくする) ロットを採用します。

③決済条件 (利確・損切り)

● 利確

総平均建値が改善されたら、以下の条件で一括決済

- ・ 価格がボリンジャーバンド中央線 (20SMA) まで戻した
- ・ または **RSI** が **45~50** 以上に回復

「完全にプラマイゼロに戻る前でも逃げる」ことで精神的負

担とリスクを軽減。

● 損切り

ナンピンは無限に続けてはいけないので“終了ライン”を決める。

- **200SMA** を終値で明確に割ったら全ポジション損切り
(長期トレンドが崩壊したと判断)
- ナンピン回数は **最大3回** (計4ポジション) まで
- 許容損失%を事前に設定 (例: 口座残高の5%まで)

👉 ナンピン手法の破綻パターンは、「ずっとナンピン → 戻らず爆死」なので、ナンピンは時間と回数に制限をかけるのが鉄則です。

①～④を簡単にまとめると、

【長期が上昇トレンド】 + 【短期的に売られすぎ】

↓

第一手エントリー

↓

(1ATR 下落ごとに)

【RSI < 25 + CCI < -150】



ロットを小さくしてナンピン



【平均建値より価格が戻る】

【またはボリンジャー中央到達】



利確・逃げ



【200EMA 割れ or ナンピン 3 回超え】



強制終了（損切り）

ナンピンは本来危険とされていますが、

“危険地帯では入らない”

“回数とロットを制限する”

“長期トレンド順方向だけ狙う”

ことで、破綻確率を大幅に抑える工夫をした手法になってい

ます。

最後に……

ここまでお読みくださりありがとうございます。

ご紹介したナンピン手法はあくまで一例であり、世の中には数多のトレード手法が存在しているのはご承知の通りか
と思います。

本書を参考にして頂くのもよし、これは無いと切り捨てる
もよし。すべてはトレーダー自身が考え、自身で様々なトレ
ード経験を積むことが勝つために重要だと断言できます。